

日本動物考古学会 第10回大会 (第2報)

参会者の皆さま

新緑の候、皆さまにおかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、来る7月1・2日の両日、北海道大学総合博物館を会場に開催させていただき、日本動物考古学会第10回大会のプログラムをお届けします。ご参会の皆さま、研究発表を申し込まれた皆さまにおかれましては、本紙の諸注意をご一読の上、ご準備くださいますようお願い申し上げます。

ホストを務めていただく江田真毅会員の格別なるご配慮で、大会終了後に希望者を対象に館内バックヤードツアーも計画していただいております。

本大会が、皆さまにとりまして、得難い学びと懇親の機会となりますことを願っております。

2023年4月吉日

日本動物考古学会
会長 佐藤孝雄

日 時 : 2023年7月1日(土)・2日(日)

会 場 : 北海道大学総合博物館

懇親会会場 : 北海道大学総合博物館 ミュージウムカフェ ぼらす

参加費 : 研究会 1,000円

懇親会 4,000円

※ 参加費は当日受付で申し受けます。

発表者の皆さまへ

1. 口頭発表

● 発表データの受け渡しと使用機材

発表者は、PowerPoint のデータを USB メモリに保存してお持ちください。発表には会場に設置された PC をご使用ください。自前の PC を使用することはお控えくださいますようお願いいたします。データの受け渡しは 7 月 1 日（土）12：00 から受付で行います。ご自身の発表セッションの前の休憩時間までに発表データをご提出ください。PC は受付（データコピー専用）と会場（発表用）に 1 台ずつ用意いたします。

Microsoft PowerPoint 2016 がインストールされた Windows の PC を使用する予定です。Mac で発表データを作成される方は、事前に各自で発表データが Microsoft PowerPoint 2016 で作動するか動作確認を行ってください。

● 発表時間

1 件当たり 20 分です。内訳は発表時間 15 分、質疑応答 5 分とお考えください。13 分経過（ベル 1 回）、15 分経過（ベル 2 回）、20 分経過（ベル 3 回）をお知らせします。大会を円滑に運営できるよう、時間の厳守にご協力をお願いいたします。

2. ポスター発表

ポスターボードのサイズは横 90cm、縦 180cm です。会場には掲示用の画鋏等を用意しますので、ご自身の演題番号が記されているボードに掲示をお願いします。ポスター掲示は 7 月 1 日（土）12:00 から可能です。また、7 月 2 日（日）14:00 までに各自で撤収してください。

密集・密接を避けるために、1 日目と 2 日目の両日にポスター発表の時間を設けています。発表者は、少なくともどちらか 1 日の発表時間にポスター設置場所でご発表下さい。

研究発表プログラム

7月1日(土)

開場・受付 12:00～

開会の辞 13:00 (会長：佐藤孝雄)

研究発表 A (座長：福井淳一)

- 13:10～13:30 A01 「沖縄県久米島町下地原洞穴遺跡から出土した更新世絶滅シカ類の
タフォノミーに関する新知見」
澤浦亮平・藤田祐樹・石原与四郎・砂川暁洗・海部陽介
- 13:30～13:50 A02 「墓坑内出土の骨・遺物のタフォノミーに関する実験研究」
青野友哉・高瀬克範・永谷幸人
- 13:50～14:10 A03 「東北太平洋沿岸における骨角器の製作技術
—青森県二ッ森貝塚とその周辺地域を中心に—」
算用子眞充・上條信彦
- 14:10～14:30 A04 「弭形鹿角製品について」
川添和暁
- 14:30～14:50 A05 「弥生時代の鹿角利用について—神奈川県池子遺跡を中心に—」
高橋 健・風間智裕

ポスター発表① (発表者・題目は別紙に一覧) 15:00～15:30

研究発表 B (座長：菊地大樹)

- 15:30～15:50 B01 「縄文時代の巻貝形土製品のモデルと水鏡利用の可能性」
黒住耐二
- 15:50～16:10 B02 「山形県北町遺跡から出土した縄文草創期焼骨片の組織学的種同定」
澤田純明・米田 穰・長井謙治
- 16:10～16:30 B03 「現生御崎馬骨標本の病理学的研究と出土ウマ遺体への応用」
植月 学・西中川駿・松元光春
- 16:30～16:50 B04 「北千島出土内耳土器の脂質分析」
猪熊樹人・宮田佳樹・宮内信雄・堀内晶子・三谷智広
- 16:50～17:10 B05 「北海道・北東北の縄文遺跡群関連遺跡の土器残存脂質分析」
宮田佳樹・村本周三・福井淳一・宮内信雄・堀内晶子

記念撮影

総 会 17:20～18:00

懇親会 18:15～

7月2日(日)

開場 9:00～

研究発表 C (座長：畑山智史)

- 9:20～9:40 C01 「微破壊タンパク質分析による遺跡出土鯨類骨片同定の試み」
江田真毅・Samantha Presslee・Jessica Hendy
- 9:40～10:00 C02 「北海道における縄文時代とオホーツク文化期のイヌの古代ゲノム解析」
寺井洋平・本郷一美・加藤博文・佐藤孝雄
- 10:00～10:20 C03 「(仮題) 近世アイヌ文化期貝塚出土の動物遺存体同定
—伊達市カムイタプコプ下遺跡で検出された 1640 年以前の貝塚—」
三谷智広・添田雄二
- 10:20～10:40 C04 「大村藩白金下屋敷における動物資源利用」
阿部常樹

ポスター発表② 10:50～11:20 (発表者・題目は後掲)

研究発表 D (座長：澤田純明)

- 11:20～11:40 D01 「大家貝塚の貝」
阿部きよ子
- 11:40～12:00 D02 「中国新石器時代後期における牧畜業の受容と展開」
菊地大樹
- 12:00～12:20 D03 「先史時代琉球列島におけるイノシシ属利用」
青野 圭・片桐千亜紀・波木基真・本郷一美
- 12:20～12:40 D04 「縄文時代のドメスティケーションを考える
—伊豆諸島の縄文イノシシを中心に—」
山崎京美
- 12:40～13:00 D05 「動物考古学に関する展示活用の実践事例」
山崎 健

閉会の辞 13:00 (副会長：本郷一美)

バックヤードツアー (事前申込者のみ) 14:00～15:30

ポスター発表プログラム

- P01 「ニホンオオカミの 14C 年代測定と安定同位体による食性推定」
三谷智広・出口翔大
- P02 「北海道有珠モシリ遺跡出土のラッコ」
永谷幸人・西本豊弘
- P03 「三陸沿岸における縄文晩期の大型マグロ属遺存体の報告：
岩手県大船渡市宮野貝塚 1978-1980 年出土資料から」
渡辺双葉
- P04 「縄文時代後期の魚類利用 ―千葉県市園生貝塚・内野第 1 遺跡の再検討―」
坂本 匠
- P05 「定住化の示標としての遺跡出土ネズミ遺存体における可能性
―完新世初頭における出土状況とその課題―」
畑山智史
- P06 「利根川下流域における縄文時代の動物資源利用」
櫻庭陸央・植月 学
- P07 「弥生時代における島根県西川津遺跡のシカ、イノシシ下顎骨の解体と加工について」
吉永亜紀子
- P08 「新潟県の馬小屋遺構」
高尾将矢
- P09 「鎌倉市若宮大路周辺遺跡から出土した中世馬骨」
佐藤孝雄・植月 学・艾凱玲・本郷一美
- P10 「神奈川県鎌倉市由比ガ浜中世集団墓地遺跡の動物遺体」
艾凱玲
- P11 「大坂城下町のニワトリ」
許開軒・丸山真史・江田真毅
- P12 「沖縄県八重山地域におけるブタの出現」
新美倫子・玉城 綾
- P13 「琉球列島における家畜動物文化の導入と伝播：イノシシ属を例にして」
山田英佑・本郷一美・遠藤秀紀

お問い合わせ先

〒900-0006 沖縄県那覇市おもろまち3-1-1

沖縄県立博物館・美術館 澤浦亮平

Tel: 098-851-5401

E-mail : sawaura@gmail.com

会場・宿泊のご案内

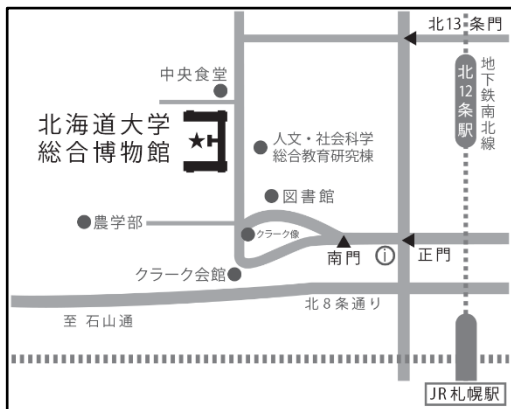
会場: 北海道大学総合博物館（〒060-0810 北海道札幌市北区北10条西8丁目）

JR 札幌駅北口から徒歩約 15 分、北 12 条駅から徒歩約 10 分

※博物館周辺に駐車場はありません。バス・地下鉄等の公共交通機関のご利用をお願い致します。大学構内は全面禁煙です。

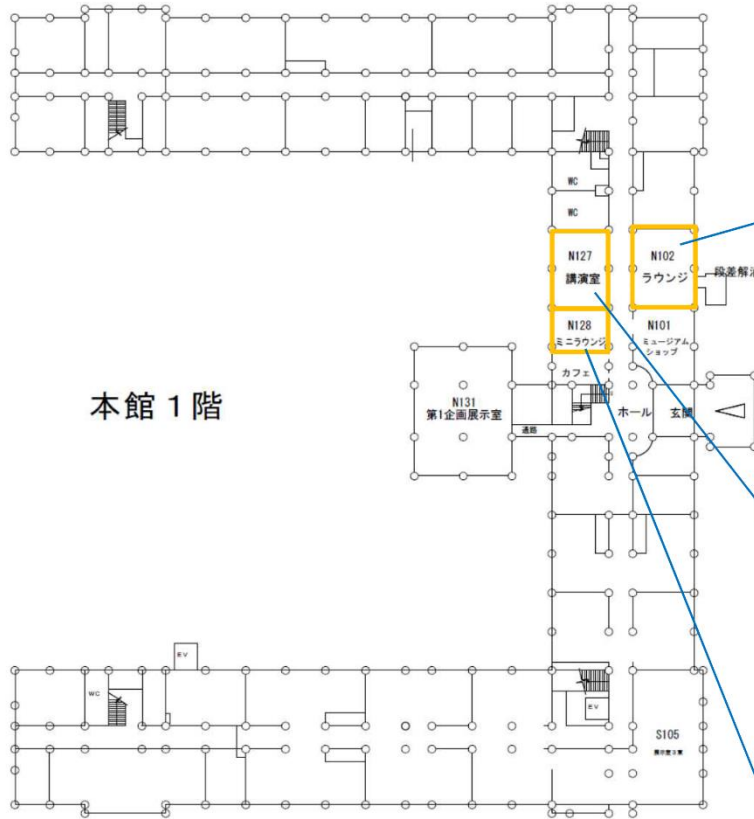
宿泊: 各自で手配をお願いします。

※大会が開催される週末は、札幌市内で各種コンサートが催されるらしく、駅周辺のホテルが大変混み合っているようです。遠方より参加されます方は早めに宿の手配を済ませられますようお願い致します。



理学部本館(総合博物館)図面

懇親会 会場



研究発表 会場



ポスター発表 会場